

## 課題名：選果場を核とした野菜産地の強化（課題6）

（伊勢崎地区農業指導センター）

### 【評価できる点】

- (1) 産地の課題に対し、現状把握がしっかり行われており、支援事項と解決手法が的確。到達目標や活動経過、今後の課題と対応策なども明確。
- (2) 支援が多岐にわたって複合的に展開している。野菜産地強化のための支援として、「技術」「生産振興」「担い手」を柱にした活動を行っている。
- (3) 産地ビジョンはきちんと戦略が練られている。「道しるべの共有」という視点により、農業者、関係機関が同じ目標に向かって進んでいる。
- (4) 露地ナスの新規栽培者数は顕著な成果が得られている。さらに、露地ナスから別の作物へのステップアップなどロードマップが示されている点が評価できる。

### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

#### 1 課題や目標設定に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 新規就農者が毎年20名以上であること、ナス・キュウリへ転換する農業者数を考えると、より高い目標設定ができるのではないか。
- (2) 新規栽培者数＝新規就農者でよいか、また担い手がどのくらい増加したのか不明。半促成ナス研修者が、生産者全体から考えると少なく感じる。

#### 2 活動内容に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 選果場利用で各戸の収量や収入が、どれだけ変わったのかを明示できれば、なお良いと思う。
- (2) 燃料や資材の高騰が進んでおり、さらに営農の効率化が求められる。